

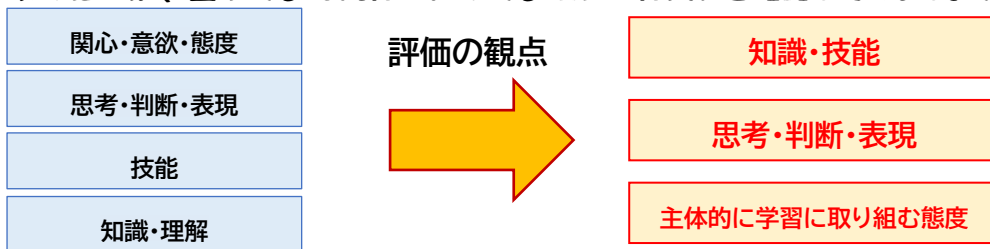


はじめの一步

通知表が変わった!

「新しい評価の仕方」を解説

新学習指導要領では学習評価の仕方が変わり、そして通知表も変わりました！
何が変わったのか、基本的な考え方・具体的な改善の方向性を確認してみましょう。



上記のように、今まで4つの観点だったものが3つに再編されました。

《知識・技能》⇒⇒「知識・理解」と「技能」が統合されたもの。例えば、歴史の年号を丸暗記するというのではなく、どういう背景やつながりがあるのかなど、理解を伴った知識・技能であるかを評価します。

《思考・判断・表現》⇒⇒レポートの作成、グループでの話し合いや発表・質疑応答などで評価。大事なのは、自分なりの考えを出すこと。文を読んで筆者が何を言いたいのかを読み取るだけでなく、その上で「自分はどうか考えるか」が問われることに。

《主体的に学習に取り組む態度》⇒⇒学習の進め方をどうするか考え、知識を得る為に試行錯誤しているかを評価します。自分で計画を立てて学習するだけでなく、間違えた問題があればなぜ間違えたのかを分析して次の学習に生かしていく、その力があるかどうかを評価するということです。

『分析して次に生かす』は、まさに ONE STEP で取り組んでいること！



評価基準はこうなる “目標に到達したか” を確かめる

小学3年の「数と計算」を例にとると、何が評価基準になるか見えてきます。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・万の単位について <u>知っている</u> ・10倍、100倍、1000倍、10分の1の大きさの数及びそれらの表し方について <u>知っている</u>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、 <u>日常に生かしている</u>	・整数に進んで関わり、 <u>数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている</u>

これを参考にして授業で掲げた目標に到達したかどうかを確かめていくわけですね。

それが評価になり、A・B・Cに総括したものを数値（3段階及び5段階）で示すことが評定となるわけです。改めて見ていくと、評定は点数だけでつけられたものではなく、学習への取り組みが反映されたもの

だということが分かります。

自分の通知表を見てみて下さい。そこには、今までの自分の取り組みがどうだったかが分かる評価（評定）があるはずで、ただ結果に一喜一憂する…のではなく、自分の学びを振り返り、次につなげられると良いですね。

『取り組む姿勢』それが大事。教室でもここを見えています。



ごあいさつ

こんにちは
ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。地域密着にて地域ナンバー1の塾を目指しております。地域密着なので、近隣の小・中学生が自分の目標に向かって前向きに自分のための勉強をしていけるよう・保護者様がそんな子どもの姿を見て安心してもらえるように学習面において『少しでも力になれば...』と思い、このように教育情報をお配りしております。

子どもたちが自分に自信を持って、普段の生活を送れるようになるのもっとも元気で活気のある子どもがこの地にも増えてくると信じています！

小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことろ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。